

研修カリキュラム立案の重点テーマ

A	資本市場の一員として、ステークホルダーの視座から、会社の持続的成長と中長期的な企業価値向上に如何に貢献するか。
A1	企業価値向上：企業価値の毀損を防ぎ、企業価値を向上させる行動や考え方
A2	ステークホルダー理解：投資家を始めとするステークホルダー、サステナビリティ、DE&I理解
B	人の集合であり経済活動の主体である企業の実態と向き合い、大局的視点から専門職としての知見を如何に活かすか。
B1	専門的知識：専門職としての知識のアップデート
B2	実態把握：経営者目線で全体像を俯瞰した経済・社会情勢/ビジネス/企業実態の把握
C	ボードにコミットする立場として、如何に親愛を持って真摯に使命を果たすか。
C1	役割理解：ボードにコミットする立場としての役割への適切な理解とチームへの貢献
C2	基本姿勢/倫理：公認会計士法の定める使命、適切なコミュニケーション他

上記について、社外役員として望ましい行動につながるように、以下の三つの視点で整理した。

① 社外役員として必要な考え・判断 (Idea & Judgment)
② 社外役員として必要な知識 (Knowledge & Skill)
③ 社外役員に必要な行動・振る舞い (Action & Behavior)

社外役員就任時点で、公認会計士として獲得していることが想定される土台となる力。

独立性	職業的専門家として獲得した独立性に基づく客観性/公正不偏性を保持し、外部者の視点から、発言することができる。
倫理性	多様性/包摂性/公正性を重視した倫理的で透明性の高いプロセスによる事業活動の意義を理解している。
コミュニケーション	多様なステークホルダーの視座と変化即応能力を有し、経営者や投資家と共感性をもってコミュニケーションできる。
専門性	公認会計士としての専門能力（財務、会計、監査、法務等）を前提としつつ、地球環境/社会経済/企業統治への深い洞察力を有し、企業価値の源泉を財務・非財務を通じて統合的に理解することができる。

以 上